

小林鷹之 たかゆき からの手紙

自民党総務会にて党幹部に法案説明

臨時国会にて

絆を力に。2014年 Vol.21 [討議資料]

衆議院議員

自民党千葉二区支部 小林鷹之事務所発行
(八千代市・習志野市・千葉市花見川区)

活動報告



- ①「対話と圧力による北朝鮮外交を進める会」発足。
- ②習志野市制施行60周年式典。
- ③千葉県税理士政治連盟にて講演。
- ④花見川区の特別支援学校視察。
- ⑤川越少年刑務所視察。
- ⑥地元町内会運動会に参加。
- ⑦地元町内会祭りにて挨拶。
- ⑧袖ヶ浦団地の現状について地元の方と意見交換。(花見川・高津団地に続き)
- ⑨議員会館にて八千代市の小学生に国会議員の仕事について説明。
- ⑩花見川区にて国政報告。

facebook

www.facebook.com/hawk.kobayashi

twitter

twitter.com/kobahawk

ホームページ

www.kobayashi-takayuki.jp



小林鷹之プロフィール

東京大学法学部卒業。ハーバード大学行政大学院修了。財務省課長補佐、外交官を経て2012年の衆議院総選挙で初当選。財務金融・外務・東日本大震災復興の各委員会委員、自民党外交部会／財務金融

部会の副部長、青年局次長他、各種事務局を務める。現在39歳。一女の父。

国会見学

小林鷹之事務所では、国会見学の受付もしております。見学をご希望される方は、希望日時、団体名、代表者名、参加人数、等を下記事務所までお知らせ下さい。

小林鷹之と共に語る会(国政報告会)

小林鷹之による国政報告会を開催しております。ご希望の方は下記の八千代事務所までご連絡下さい。

小林鷹之事務所

国会事務所

〒100-8981

東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 417号室

電話：03-3508-7617 FAX：03-3508-3997

八千代事務所

〒276-0042

千葉県八千代市ゆりのき台3-3-5 アットホームセンター第2ビル 202号室

電話：047-409-5842 FAX：047-409-5843

Email：info@kobayashi-takayuki.jp

臨時国会にて

臨時国会も終盤戦。所属する財務金融委員会、外務委員会では法案や条約の審議が進んでおりますが、審議が止まっている委員会も散見されます。

「政治とカネ。」

毎朝、駅頭で演説や政策ビラの配布が続けておりますが、多くの方々が言葉に出さなくとも、国政に対していかなる思いを抱かれているかはひしひしと感じます。不適切な支出は見過ごされることがあつてはなりません。厳しくチェックされる必要がある。一方で、新人議員の目から見れば、課題山積の中で貴重な国会審議の時間はもっと有意義に使われるべきとの強い思いがあります。地元の皆様に国会に送って頂いている責任の重みをわきまえて、私自身、引き続き、政策論議に全力を傾注してまいります。

【景気・財政】

国会に加え、自民党においても財務金融副部長、外交副部長を拝命し、一期生ながら重責を感じつつ職務に邁進しております。財務金融分野の最大の焦点は、消費税率の10%への引上げ時期。予定通りの実施か、あるいは延期か、議論が熱を帯びております。景気回復と財政健全化。これを書いている時点（11月12日）では、株価が1万7千円台で今年最高値を記録しておりますが、回復の実感が依然として広く浸透しない中で、

日々国の借金は増えていく。二兎を追うことの難しさと必要性は誰もが分かっている中でどう決断するのか。

増税延期については世論調査で7割近い方が支持。それに逆らって予定通り増税を実施するのであれば、その後の景気へのダメージを最小限にするための経済対策を併せて示す責任があります。他方で、増税延期の国民感情に応えるとします。その場合、増え続ける年金・医療・介護の歳出を賄う消費税収が見込めなくなるので、現在の給付水準を維持しようとすれば、財政的な穴が必ず生じます。給付水準を抑制するのか、あるいは、子供や孫たちのクレジットカードをもう少しだけ勝手に使い続けるのか、決断しなければなりません。また、国際社会は、アジア唯一の先進国であり高齢社会に突入した日本の財政健全化への意思を注視しています。延期した場合の財政健全化に向けた具体的かつ説得的な道筋を併せて示す責任があります。

【外交・安全保障】

日本を取り巻く国際情勢も動いています。3年ぶりの日中首脳会談。意思疎通が困難な状態が続けば、不測の事態が生じかねません。また、国際社会の繁栄のためにも世界第二・第三の

経済大国が関係を改善していくことは政治の責務です。安易な譲歩は禁物ですが、戦略的互惠関係を追求する姿勢は堅持すべきです。他方で気に懸念のが同盟国米国の対中スタンス。先般の米国中間選挙の結果、今後のオバマ政権の運営に暗雲が漂い、国際社会における米国の地位の低下が懸念される中で、先の米中首脳会談にてオバマ大統領が「米国のアジア重視政策の核心は米中関係だ」と言及。米中の接近とも見られる動きが、我が国に与える影響について冷静に分析する必要があります。

北朝鮮による拉致問題は時間との闘いです。先月末の訪朝団とのやりとりを見ても、北朝鮮による不誠実な対応が続く中、私を含めた自民党有志12名で「対話と圧力による北朝鮮外交を進める会」を立ち上げました。新たな圧力メカニズムの検討や、拉致・核・ミサイル問題を解決するための議員外交を推進し、官邸への提言も視野に入れて動き始めています。

国が抱える課題をただ唱えるだけでは何も変わらない。新しい発想とみなぎる活力で課題を解決していくこと。これが私たちの世代の政治家に求められていることだと自覚して活動が続けてまいります。

平成二十六年十一月吉日
衆議院議員

小林鷹之